

【資格の大原 静岡校】

2025 年宅建士試験 合格者インタビュー



Y · K 様 常葉大学 経営学部 4 年

2025 年 宅建士合格コース・入門パック

2025 年 宅建士試験合格（受験回数 1 回）

就活と入社前準備のために

内定先で活かすため宅建士資格に挑戦。大原を選んだ理由は、無料の立体駐車場完備で通いやすく、対面授業が受けられるから。Y·K曰く「授業には必ず出席することが大切です。映像授業ではなく、対面だから先生に質問もしやすく、テストで自分の弱点もすぐ分かりました」とのこと。スマホは家に置いて、大原自習室か図書館で勉強に集中。8月頃から本格的に勉強を開始し、直前3週間は1日8時間勉強。見事一発合格！大原の対面授業と学習環境が、合格への最短ルートとなったとのこと。大学生必見の合格体験記！

■受験の動機

— 宅建試験合格おめでとうございます！まずは、宅建を受験しようと思ったきっかけを教えてください。

Y·K 内定先が不動産会社なので、宅建の資格が必要だったんです。不動産業界を選んだのは、専門のスキルを身につけたいと思ったことと、衣食住の「住」に関わる仕事だから、将来的に仕事がなくなるないだろうと考えたからです。

Y·K 実は学生時代に、自分で片付けの事業を立ち上げていたんです。お家の片付けや遺品整理などのリサイクル業を2年生から1年間やっていて、その時に不動産会社から仕事をもらっていました。競売物件の片付けなども経験して、不動産業界に興味を持つようになりました。不動産会社は、利益の桁が全然違って、夢があるなと思いましたね。

■勉強の方法の選択に関して

— 独学という選択肢もある中で、資格スクールに通おうと思った理由は何ですか？

Y·K 僕は家だと勉強できないタイプなんです。以前、簿記を家で勉強したんですが、全くできなくて落ちてしまって。その経験があったので学校に通おうと決めました。

— 数ある資格スクールの中から、大原を選んだ決め手は何でしたか？

Y·K 正直に言うと、無料の駐車場があるかどうかが大きかったです（笑）。実家が駅から遠いので、車で通いたかったんです。駐車場が使える学校を探したら、大原しか見つからなかったんですよ。

あと、映像授業ではなく、対面式の授業を受けたかったというのもあります。行かないと勉強できないタイプなので、対面でしっかり授業を受けられる環境が必要でした。



■勉強の仕方について

— 学校との両立はどのようにされましたか？

Y·K 4年生だったので、大学の授業はあまりなく、時間的には余裕がありました。ただ、メリハリは大事にしていましたね。家では一切宅建の勉強をしなかったんです。勉強するのは大原の自習室か大学の図書館だけ。特に大原の学生ホールは集中できました。静かすぎると眠くなってしまうんですが、ちょっと人の気配がある方がちょうどいいんです。

— 具体的な勉強方法を教えてください。

Y·K 授業の復習は問題集を使ってやっていました。授業には必ず出席して、テキストや講義録にマーカーを引いて。ただ、本格的に勉強を始めたのは8月からです。それまでは正直、テストの点数も低かったです。

Y・K 基本となる問題集は2回転くらいしかしていません。メインは一基礎知識問題集でした。書店で参考書を買い足すこともなく、大原の教材だけで勉強しました。

—— 勉強する上で工夫したことはありますか？

Y・K スマホを家に置いてきたことですね。大原や図書館で勉強する時は、スマホを車か家に置いていました。身近にあると見ちゃうので。これは本当におすすめです。外で勉強する人には特に効果的だと思います。

—— 苦手科目や得意科目はありましたか？

Y・K 宅建業法は得意でした。逆に権利関係（民法）は難しかったですね。

—— モチベーションを維持するために心がけていたことは？

Y・K 「今年取るしかない」という気持ちでした。来年また同じ勉強をしたくありませんでしたから。あと、周りのみんなに「宅建受ける」って言いふらしましたね。自分自身へのプレッシャーになると思って。家族や友達も応援してくれて、家族はチョコレートを買ってきてくれたりしました。試験前は友達からの連絡も少なくなりました（笑）。

—— 大原に通ってよかったと思うことは？

Y・K 対面授業だと、テストやペアで問題の答え合わせをするときに自分ができていないことが分かるんです。他の人ができていると焦るじゃないですか。それがすごく良かったと思います。一人で勉強していたら分からないですからね。切磋琢磨できる環境がありました。

Y・K 石田先生の授業もゴロ合わせとかもあり、分かりやすかったです。あと、自習室があることも大きかったです。一問一答などの問題演習教材もすごくありがたかったです。



―― 直前期の過ごし方を教えてください。

Y・K 直前3週間はアルバイト（飲食店で働いていました）を休みました。1日8時間勉強していましたね。午後から大原に来て、閉館時間の夜9時までいました。

Y・K 模試は他校のものが40点で良かったんですが、大原の模試はダメダメでした。その時は「ヤバイな」と思いましたが、「絶対に受かるぞ」という気持ちはずっと持ち続けていました。

―― 試験当日の様子を聞かせてください。

Y・K 会場はグランシップでした。すごく広い吹き抜けの空間に何百人もいて、正直、落ち着かなかったです。

本試験は宅建業法から始めました。個数問題だったので時間がかかるって、50分くらい使ってしました。そこから5問免除、法令制限と進んで、権利関係に入ったのは残り30分くらいの時点でした。かなりギリギリでしたが、バランスよく勉強していたのでなんとかなりました。

見直しの時間はほとんどなく、マークシートの確認だけして終了。終わった時は「落ちた」と思いました。

―― 自己採点はいつされましたか？

Y・K 試験が終わってすぐにやりました。ホームページで解答が出るたびに埋めていって。最初は38点くらいだったんですが、解答が更新されるたびに点数が下がっていって、最終的には36点になってしまって。去年の合格点が37点だったので、「ヤバイな」と焦りました。各校の予想合格点は34~35点だったので、まあいけたかなとは思いましたが、マークミスがあったらどうしようとか、合格発表までは全然気が抜けませんでした。

―― 合格発表の日、合格を確認した瞬間は？

Y・K 11月26日の9時半、大学の授業中にパソコンで見ました。僕だけパソコンを見ていて（笑）。番号を見つけた時は、「やった」というよりも「よかった、安心した」という気持ちでしたね。静かに喜びました。

授業が終わってから親に電話して、「おめでとう」と言ってもらいました。一番の喜びは「もう勉強しなくていい」ということでした。社会人になってから受験勉強に追われるの絶対に嫌だったので（笑）。

—— 資格をどのように活かしていきたいですか？

Y·K 就職先は県内の大手不動産会社です。売買をやりたいと思っています。夢がありますからね。とにかく、たくさん制約を取りたいです。

—— これから合格を目指す方へアドバイスをお願いします。

Y·K まず、勉強する時としない時のメリハリをしっかりつけることです。落ちて来年また勉強することを考えると、「今年受からなくちゃ」という気持ちに強くなりました。

周りに「宅建受ける」と言いふらすのもいいと思います。プレッシャーになりますから。

特に学生の方には、スマホを家に置いて図書館や自習室で勉強することをおすすめします。スマホがあるとどうしても触ってしまうので。集中できる環境自分で作ることが大切だと思います。

★インタビューを終えて★

入社後の仕事に資格を活かす！という明確な目標を持って資格取得に臨んだ Y·K さん。「家では勉強しない」「スマホは持っていない」など、自分の性格を理解した上での工夫が印象的でした。社会人になってからの益々のご活躍を祈念しております。改めて、合格おめでとうございます！

大原スタッフ一同



(右：Y·K様 左：石田講師 ／ 実施日：2025年12月1日 ／ 場所：資格の大原 静岡校)